

# パオちゃん's EYE

2020年3月1日 発行 No.36

## えと 今年の干支はネズミ

子どもの頃、十干十二支（じゅっかんじゅうにし）について教わり、十二支は「ね、うし、とら…」と覚えました。今年の子年（ねどし）です。子（ね、し）は、今ではすっかりネズミのこととなっていますが、一説には生命などの物事の始まりを意味するものだったようです。十二支は後にそれぞれに動物があてはめられたことによって一般に広まったとされています。

さて、ネズミは、ミッキーマウスのように大人気のキャラクターがいる一方、住宅に住み着いて壁や家財などをかじる、お米やイモなどの食糧を食べる、ペストなどの疫病（えきびょう）を広めるなどやっかい者として扱われることもあります。ネズミ類の中でドブネズミ・クマネズミ・ハツカネズミの3種類は家ネズミともよばれ、人間の生活空間をよく利用します。家ネコが日本に持ち込まれたのは正倉院の宝物をネズミから守るためだったとも言われています。建物にねずみ返しを作ったり罠（わな）をしかけたり毒をまいたりしましたが、家ネズミはいまだに私たちのまわりから姿を消していません。果たして人類は家ネズミとうまく共存していくことができるのでしょうか。



倉敷市内の民家で捕らえられたクマネズミ

江田伸司(動物担当)

パオちゃんズアイ<sup>66</sup>に関するお問い合わせは

### 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには  
いろんな情報がいっぱい♪  
「倉敷市立自然史博物館」で  
検索してみよう！ パオより

